



地域と『つながり合う』授業実践

地域交流 「あさはた緑地・麻機遊水地」

- 実践グループ：①中学部1年 特別活動「あさはた地区を知ろう」
 ②自立3・生活グループ 作業学習「中央よしファクトリー」
 ③自立3グループ 生活単元学習「あさはたを知ろう」

実践グループ、授業形態は目的・目標に応じて異なりますが、共通する点は、『あさはた緑地・麻機遊水地のモノ・コト・ヒトを活用する』という点。

- ①年間を通じて季節を感じながらエリア内の散策、観察をしています。麻機地区の四季を体感したりカメラに収めたりした後、気付いた点を記した「あさはたマップ」を学年の仲間全員で作成しました。
- ②エリア内のよしを刈り取る工程から自分たちで行い、よしを材料とした製品を製作しました。ミキサーがけ、よし紙すき、よし本体やよし紙のカット、よし編み、パソコンを使ったよし紙への文字入力の工程を仲間と分担して「名刺」と「よしランタン」を作りました。
- ③あさはた緑地センターハウス内管理事務所の所長さんからのお誘いを受け、レンコン収穫体験をしました。来年度以降、エリア内の畑を借用した農作物作りを計画しているため、その学習につながる授業実践となりました。



児童生徒にとっての価値

「見る」「聴く・聞く」「触れる」「嗅ぐ」「(空気を)味わう」等、五感をたくさん使って、周囲と関わるができる。麻機のモノ・コトを介して、仲間と協働したり、新たなモノを生み出す過程でその知識・技能を身に付けたりできる。

地域にとっての価値

「自然とふれあう体験型の都市緑地」をテーマに、未来につながる緑の遊び場「あさはた緑地」は整備された。(HPより引用) 地域の方の憩いの場、地域に根差した場を目指している。

『つながり合う』POINT! (地域支援連携課から)

自然豊かな麻機遊水地に囲まれた本校の立地条件を生かした授業実践が、どの学部でも展開されています。

- ☆麻機遊水地第1工区(本校北側)：あさはた緑地は今年4月にOPEN! センターハウス、湿地、体験農園、多目的広場、遊具、カフェ等、魅力的なモノ・コトがいっぱいです。
- ☆麻機遊水地第3工区(本校南側)：以前から、ベーター麻機部会を中心にお世話になっており、今年度も田植えや稲刈り体験のお誘いを受けています。(コロナにより不参加)

本校は、今年度より学校運営協議会制度を導入する学校<コミュニティスクール>として歩み出し、運営協議会委員の一人、あさはた緑地管理事務所の所長さんとの連携により、自立3Gのレンコン収穫体験が実現しました。

今後も、子供たちと先生方のアイデア次第で、また地域の方の教育活動への参画で、連携・協働による可能性はどんどん広がります。

ちなみに、生活・自立3G製作のよし紙は、先日来校された絵本作家：宮西達也さんの目に留まり、持ち帰られたと聞いています。どこで、だれと、どのようにつながり合えるチャンスがあるのか、予想できなかった素敵なエピソードです。